

変わる御代田へ 着々準備

町長 小園 拓志

町長就任後2年が経過し、任期の折り返しとなりました。このたび議会にて議決いただいた令和3年度当初予算は、10年後、20年後の御代田の姿を見据えた準備を本格化させるための予算です。立地適正化計画は、都市計画道路を含む町のインフラ整備を、国費を活用し有利に進めていくために不可欠のものです。女性や青少年をはじめ町民の声をつぶさに聴いて成案化します。農業振興地域整備計画の見直しも、農地としてしっかり確保するエリアと、多用途への活用も検討しうるエリアを区別し、町内の貴重な土地の有効活用を図ります。

一方、町民各層への家計支援、経済対策も充実させます。介護保険料は据え置き。国保税は「資産割」を7年かけてゼロにします。給食費の無償化は本格実施に。再びプレミアム商品券を発行し、テイクアウト割引も延長。商工業者への利子補給も新設します。

さらに前進する町政へのご理解、ご協力をお願いいたします。



3月定例会で招集あいさつを行う小園町長

令和2年度の取り組み

コロナ禍の経済対策続々

全町民1人1万円の独自給付金、一般事業者向け、農業者向け、宿泊・飲食業向けの給付金、テイクアウト30%補助、プレミアム商品券発行、医療機関・高齢者施設への対策補助金など町独自の施策に機動的に取り組みました。



給食費無償化を暫定実施

コロナ禍の家計支援を目的に、本年4月開始を計画していた小中学校の給食費無償化を昨年7月に前倒し、実施しました。

中学校3年生に夢サボ塾

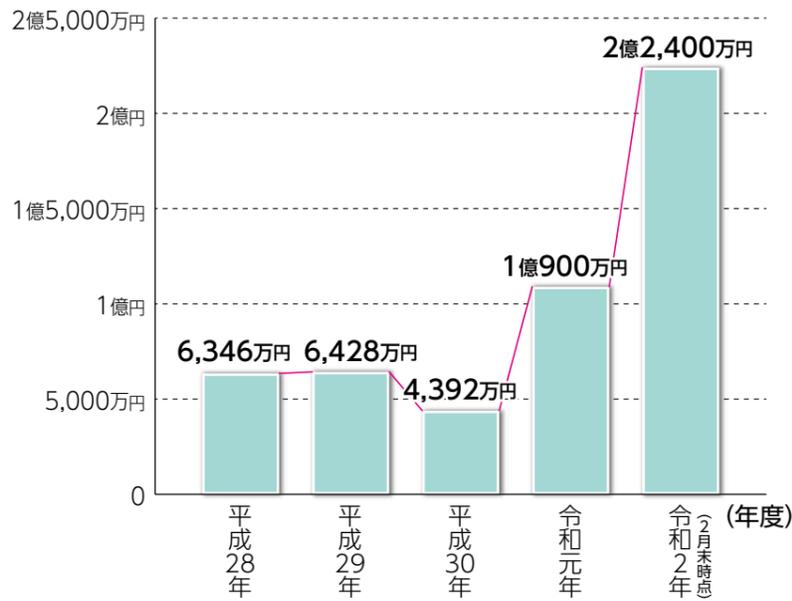
小学4年からのステップアップ塾に加え、土曜日に英語、数学を課外で学べる中3向け公設塾を新設しました。



令和3年度の取り組み

ふるさと納税2億円突破

新型コロナウイルス禍で所得の落ち込むかたがかなり増加したとみられ、相当苦勞しましたが、返礼品のさらなる掘り起こし、特設サイト「みよたんクエスト」など新奇性のある取り組みで、2月末までに2億2400万円超を集めました。



介護保険料は据え置き

介護給付費の増大に伴い大幅増を見込んだものの、基金の活用や一部人件費の一般会計化で、最高で1人年間約1万4千円の実質減額となります。

国保税「資産割」を段階廃止

土地や建物の固定資産税額に比例して負担いただく「資産割」は、町外資産は対象外であるなど不公平感を持つ人が多く、7年かけて廃止とします。

LED化

公共施設、街路灯、防犯灯について、球切れしにくく電気が安いLEDへの交換を短期間で進めていきます。リース契約により10年間で約7千万円の経費節減を実現。防犯灯への採用は、区役員の



LED化された防犯灯

給食費無償化を本格実施

財源のめどが立ちましたので、新年度からは期限なしの無償化開始を決断しました。

コロナ禍の経済対策さらじ

プレミアム商品券は1人当たり購入額を増やし、3万冊計3億9千万円の経済効果に。年金支給日に合わせ高齢者の買いやすさも考慮しました。テイクアウト30%割引は9月末まで延長しました。

タクシー助成 使いやすく

70歳以上と障がい者が購入できるタクシー券(1枚千円)の利用者負担額を400円から300円に引き下げ、利用目的の制限を撤廃しました。新たな免許返納者にはタクシー券のプレゼントも。

養護対象児童を支援

父母がいらないなど養護対象のお子さまに、小・中・高校入学時と高校卒業時にお祝い金をお渡しします。

御代田 TAKE OUT

<https://miyota.movabletype.io/>

▲テイクアウト特設サイト

◀目印となるのぼり (登録店舗は17店舗に)